

研究方法概略：

1. 日本全国規模の多施設共同研究です。全国 60 施設以上の参加を目指しています。
2. 16 歳以下の小児鈍的肝損傷および脾損傷患者を対象とした、後ろ向きの観察研究です。
3. 2008 年 1 月～2019 年 12 月までの 12 年間の症例を全国から集積します。
4. データ登録は完全 web 登録作業(Redcap EDC system を利用)となります。
5. JTDB へ参加していない「こども専門病院」や「地域の 2 次救急医療機関」も多く参加いただいております。
6. JTDB では検討できない、小児特有のデータ項目、詳細な IVR 関連データ、多くのアウトカムデータを収集します。
7. 地域の成人型救命センサーで初期治療し、その後にこども専門病院へ搬送された症例についてもデータ突合により転院搬送症例についても検討します。
8. 外科（小児外科）、救急科、IVR 治療科、集中治療科、小児科、小児救急科、小児集中治療科、など多岐に渡る領域の先生がご参加下さっています。

研究参加施設のメリット：

ご参加頂いた施設の皆様にとっては、主論文で設定した研究テーマ以外にも、JTDB では検討できない研究テーマを多数設定することが可能で、各施設において 2 次解析して独自に研究を行うことができるのも本研究の魅力の 1 つです。

データ登録者の負担が大きくなるような運用を心がけておりますので、多くの施設・様々な診療科の先生方にご参加頂けますと幸いです。